

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	04-02-05-01
事務事業名	勤労者施設管理運営事業		
事業開始年度	S46~	根拠法令・要綱等	勤労青少年福祉法、備前市勤労青少年ホーム設置条例、備前市リフレクターびぜん設置条例、備前市勤労者センター設置条例
大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	担当課(室)	商工観光課
中項目	基本施策 起業と創造が支えるまちづくり	職・氏名	商工労政係長 中島 和久
小項目	施策 勤労者福祉(福利厚生)の充実	電話	0869-64-1832

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	市内及び市内勤労者並びに施設利用者。
目的(何のために)	市内及び市内勤労者に文化、研修、スポーツ等の活動の場を提供することにより福祉の増進に資する。
行政活動(どのような方法で)	リフレクターびぜん、勤労者センター、勤労青少年ホームなどの施設の場の提供
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	利用者数を増加させることにより、市内及び市内勤労者の福祉の増進に寄与する。

事業の実績				
実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
閉館日数(年間)	日	877	877	881
教室等開催数(年間延)	回	1,116	1,058	927
利用者数(年間延)	人	79,215	78,773	66,594
活動実績				
直接事業費	千円	37,542	27,027	28,611
	人件費	793	1,252	1,081
事業費計		38,335	28,279	29,692
財源	千円			9
	一般財源	38,335	28,279	29,683
必要人員	人	0.10	0.13	0.12
結果指標名				
教室等開催数(年間延)	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
結果指標量	回	1,116	1,058	927
対前年比	%	-	94.8%	87.6%
活動コスト	円	38,335,000	28,051,000	29,692,000
単位当たりコスト	円	34,350	26,513	
結果指標				
利用者数(年間延)	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
結果指標量	人	79,215	78,773	66,594
対前年比	%	-	99.4%	84.5%
活動コスト	円	38,335,000	28,051,000	29,692,000
単位当たりコスト	円	484	356	446

事業の成果			
成果指標名	利用者数	式又は説明	リフレクターびぜん、勤労者センター、勤労青少年ホームの3施設利用者数の合計
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	79,215	78,773	66,594
対前年比		99.44%	84.54%
到達目標値	80,000	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A~E>	C
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
行政活動	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	市民及び勤労者に文化、教養、研修、スポーツ等の活動の場を提供することは重要であるが、人口減少の影響で勤労者の利用者数も減少してきている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	市民、団体などから要望・要請の強い事業である	
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	効率性評価<A~E>	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
市の関与	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	指定管理者制度の導入により、コスト削減とはなっているが、同じような施設が3施設あることから、効率を求めたい。	
<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい			
効率性の評価	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難	有効性評価<A~E>	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
職	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が当たらない	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善している	勤労者施設としての利用率は、減少傾向にある。有効性を再検討し、施設の統廃合も検討する必要がある。	
<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある			
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	有効性の評価	
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	市民参画度	
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上の見込みである	事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。	
	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している	事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		説明
<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している			
<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している			各施設の利用者の声に耳を傾けながら、利用者の増大を図っている。
<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている			

平成20年度の状況		説明	各施設の利用者の声に耳を傾けながら、利用者の増大を図っている。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 1,150(回)	結果指標量	80,000(人)
成果指標量	80,000(人)		

総合評価		評価区分<A~E>	C
平成18年度から導入した指定管理者制度により、コスト削減を図ることができたが、3施設は、類似の施設であり、利用者が利用し易い形とはなっていないが、効率が悪い。施設の統合を考える時期がきており、これ以上のコスト削減は、3施設の効率的な運用や施設の統廃合を検討していくことが必要となっている。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	勤労青少年ホームの廃止	H21	大幅なコスト削減と事業の効率化の向上